

11月9日は「119番の日」～119のお話です



119番のかけ方

「聞かれたことだけに答える！」これが命を救うための近道です。

- ①「119番消防です。**火事**ですか？**救急**ですか？」
- ②「救急車を向かわせる**住所**を教えてください。」
- ③「住所確認のため**お隣かお向かいのお宅**を教えてください。」
- ④「住所が確定出来ましたので救急車を向かわせました。」

救急車が必要な方は**今、意識と呼吸はありますか？**

※その他、通報内容に応じて聞く内容が変わります。

火災の時は、次のことを主に聞きます。

- ・安全な場所に避難していますか。
- ・何が燃えていますか
- ・逃げ遅れやケガ人はいますか？
- ・家には何人が住んでいますか？
- ・他に燃え移る可能性はありますか？

重要!! 火災の時には、避難を最優先し安全な場所へ移動してから通報しましょう。

119番のかけ方については石狩北部地区消防事務組合のホームページ内、「消防指令センター」のページで詳細について記載しています。ぜひご覧ください。

重要

サイレンを止めて現場へ向かうことはできません！

消防車や救急車などの「緊急車両」は、緊急走行をする際、**サイレンを鳴らし、赤色灯をつけなければいけないと法律で定められています。**安全のためご理解をお願いします。

外国人の方からの119番通報について

石狩北部消防指令センターでは、外国人の方からの119番通報に対して、通訳コールセンターを介しての対応が**可能となりました。**



対応できる言語

英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、ネパール語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロシア語、マレー語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語、シンハラ語、ヒンディー語

NET119について



NET119 は、音声での会話が困難な方が、いつでもどこでも音声によらない通報をすることができる、インターネットを使用したサービスです。
※利用するには、事前に登録が必要です。

こちらのQRコードから石狩北部地区消防事務組合のHP内「NET119 緊急通報システム」の説明が見られます。



11月

大洋デパート火災（1973年11月29日）

熊本県熊本市の百貨店「大洋デパート」で火災が発生し、死者 103 人、負傷者 121 人におよぶ被害を出した日本の百貨店火災としては史上最悪の惨事である。被害が大きかった理由としては、営業しながら増築工事を行っていたがために防災施設や防火管理体制に欠陥が生じたものといえる。この火災を契機にスプリンクラー設備等の消防用設備等が既存防火対象物に遡及適用されるよう消防法令が強化された。（消防防災博物館資料より抜粋）

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 文化の日	4	5 世界津波の日
6	7 <small>佐呂間町竜巻災害（2006年）</small>	8	9 119番の日	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20 <small>川治プリンスホテル火災（1980年）</small>	21	22	23 勤労感謝の日	24	25	26
27	28	29 <small>大洋デパート火災（1973年）</small>	30			

石狩消防雑学・・・11月は日中暖かくても夜や朝方にグッと冷え込むことがあり寒暖の差による体への負担が大きい時期です。ですが過去5年（平成28年～令和2年）、石狩市内で最も救急件数の少ない月は11月でした。事故なくケガなく病氣なく元気な毎日を過ごせるようにしたいですね。